

2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年1月31日

上場会社名 株式会社 商船三井 上場取引所 東
 コード番号 9104 URL <https://www.mol.co.jp/ir/index.html>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 池田 潤一郎
 問合せ先責任者 (役職名) コーポレートコミュニケーション部長 (氏名) 中西 慶一郎 TEL 03-3587-6224
 四半期報告書提出予定日 2020年2月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年12月31日）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	867,269	△8.0	24,303	△18.1	49,281	99.7	48,486	141.3
2019年3月期第3四半期	942,226	△24.0	29,679	21.8	24,677	△28.6	20,095	△31.3

（注）包括利益 2020年3月期第3四半期 15,481百万円（△56.4%） 2019年3月期第3四半期 35,535百万円（5.9%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	405.43	391.67
2019年3月期第3四半期	168.03	162.31

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第3四半期	2,078,425	654,706	25.2	4,384.82
2019年3月期	2,134,477	651,607	24.6	4,390.39

（参考）自己資本 2020年3月期第3四半期 524,385百万円 2019年3月期 525,064百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	20.00	—	25.00	45.00
2020年3月期	—	30.00	—		
2020年3月期(予想)				35.00	65.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,140,000	△7.6	25,000	△33.7	50,000	29.6	40,000	48.8	334.47

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期3Q	120,628,611株	2019年3月期	120,628,611株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	1,037,438株	2019年3月期	1,034,487株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期3Q	119,592,278株	2019年3月期3Q	119,592,898株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 4「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法について）

決算短信補足説明資料は当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報)	10
3. 参考資料	11
(1) 四半期毎の業績推移	11
(2) 減価償却の状況	12
(3) 有利子負債残高	12
(4) 海運業船腹量	12
(5) 為替情報	12
(6) 船舶燃料油価格情報	12
(7) 海運市況	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)	増減額/増減率
売上高 (億円)	9,422	8,672	△749 / △8.0%
営業損益 (億円)	296	243	△53 / △18.1%
経常損益 (億円)	246	492	246 / 99.7%
親会社株主に帰属する 四半期純損益 (億円)	200	484	283 / 141.3%
為替レート (9ヶ月平均)	¥110.49/US\$	¥109.09/US\$	△¥1.40/US\$
船舶燃料油価格 (9ヶ月平均) ※	US\$464/MT	US\$464/MT	△US\$0/MT

※平均補油価格(全油種)

当第3四半期連結累計期間の対ドル平均為替レートは、前年同期比¥1.40/US\$円高の¥109.09/US\$となりました。また、当第3四半期連結累計期間の船舶燃料油価格平均は、前年同期と概ね同様のUS\$464/MTとなりました。

当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高8,672億円、営業損益243億円、経常損益492億円、親会社株主に帰属する四半期純損益は484億円となりました。

セグメント毎の売上高及びセグメント損益(経常損益)、それらの対前年同期比較及び概況は以下の通りです。

上段が売上高(億円)、下段がセグメント損益(経常損益)(億円)

セグメントの名称	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)	増減額/増減率
ドライバルク船事業	2,208	2,082	△126 / △5.7%
	172	107	△65 / △37.6%
エネルギー輸送事業	2,202	2,203	0 / 0.0%
	137	204	67 / 48.7%
製品輸送事業	4,207	3,608	△599 / △14.2%
	△120	98	218 / -%
	うち、コンテナ船事業	2,159	1,721
関連事業	△142	59	202 / -%
	966	923	△42 / △4.4%
その他	100	100	0 / 0.2%
	171	173	1 / 0.9%
	17	30	12 / 69.3%

(注) 売上高にはセグメント間の内部売上高又は振替高が含まれております。

(A) ドライバルク船事業

ケーブサイズの上半期の市況は、ブラジル鉱山ダム決壊事故などの影響による低迷から回復し、またスクラパー搭載工事に伴う入渠隻数増加による船舶需給の引締め効果もあり上昇しました。その後、堅調な中国の粗鋼生産等を背景として一定の底堅さを保ったものの、11月以降ブラジル積みの出荷が減速したことなどから、9月上旬をピークとして市況は下落しました。パナマックスの上半期の市況は、南米出し穀物が夏場にかけて堅調だったことにより上昇しました。その後、9月以降は、米中通商交渉が不透明な状態で続いたことや中国の石炭輸入量規制が背景となり、多少の上昇局面はありながらも下落基調で推移しました。このような市況環境の中、ドライバルク船部門では前年同期比では減益となったものの黒字を計上しました。

(B) エネルギー輸送事業

<油送船>

原油船市況は、春先の原油需要減、極東域の製油所における定期修繕を受けて、上期は総じて低調に推移しました。第3四半期では、緊迫した中東情勢を背景とした突発的な市況上昇と調整局面を挟みつつ、冬場の需要期を迎えたことでマーケットは堅調に推移しました。石油製品船市況は、上期は新造船竣工数の増加や製油所の定期修繕を受け、上値が重いまま推移しました。しかしながら、第3四半期では原油船市況上昇の影響を受けた船腹需給の引締めりや、極東域の新規製油所の稼働開始により、マーケットは堅調に推移しました。このような市況環境下に於いて、長期契約の安定的な履行や確実な契約延長の実施に加え、プール運航による運航効率の改善やコスト削減にも継続して努めた結果、油送船部門全体としては前年同期比で増益となりました。

<LNG船・海洋事業>

LNG船部門においては、新たに竣工した7隻を含め長期貸船契約を主体に安定的な利益を確保し業績は堅調に推移、利益を積み上げ前年同期比で増益となりました。海洋事業部門においても、FSRU・FPSO・サブシー支援船等の既存プロジェクトが順調に稼働したことで、黒字を計上しました。

(C) 製品輸送事業

<コンテナ船>

当社持分法適用会社OCEAN NETWORK EXPRESS PTE. LTD. (以下「ONE社」) はコスト削減が想定以上に進み、上期に引き続き当第3四半期においても黒字を達成しました。北米航路の積高は前年を下回り、運賃水準も伸び悩んだ一方、欧州航路では特に第3四半期後半に需給が引き締まり、運賃水準が想定を上回りました。

<自動車船>

自動車船事業の輸送台数は、上期は中国の排ガス規制強化、米中貿易摩擦問題の影響に加え、豪州向けや欧州近海域内での荷動きが弱含んだため減少しました。前期から継続している三国間航路を中心とした配船合理化を進め、運航効率改善の取り組みを行ったことで、第3四半期の損益は改善しました。

<フェリー・内航RORO船>

フェリー・内航RORO船事業については、トラックドライバーの不足や高齢化、陸運業界における働き方改革を背景としたモーダルシフトにより荷動きは底堅いものの、大型台風による影響に加えて秋口以降景気悪化を受け弱含んで推移しました。一方、旅客については、カジュアルクルーズコンセプトの浸透により好調を維持しております。フェリー・内航RORO船部門全体では前年を上回る結果となりました。

(D) 関連事業

不動産事業においては、首都圏を中心に賃貸オフィスマーケットが堅調に推移し、当社グループの不動産事業の中核であるダイビル(株)の売上が増加したことにより、安定的に利益を計上しました。客船事業は、燃料費の増加等により前年同期比で減益となりましたが、その他の曳船や商社等の業績は総じて堅調に推移し、関連事業セグメント全体ではほぼ前年同期並みとなりました。

(E) その他

主にコストセンターであるその他の事業には、船舶運航業、船舶管理業、貸船業、金融業などがありますが、前年同期比では増益となりました。

なお、2020年1月施行のSOx規制に関しては、規制に対応した適合油の先行確保や燃料切替の事前準備を行ったことで、大きなトラブルなく燃料油の切替えを行い安全運航に努めました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ560億円減少し、2兆784億円となりました。これは主に現金及び預金が減少したことによるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べ591億円減少し、1兆4,237億円となりました。これは主に短期借入金が増加したことによるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べ30億円増加し、6,547億円となりました。これは主に利益剰余金が増加したことによるものです。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ、0.6ポイント上昇し、25.2%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

(通期)

	前回予想 (第2四半期決算発表時点)	今回予想 (第3四半期決算発表時点)	増減額/増減率
売上高 (億円)	11,730	11,400	△330 / △2.8%
営業損益 (億円)	260	250	△10 / △3.8%
経常損益 (億円)	500	500	— / — %
親会社株主に帰属する 当期純損益 (億円)	400	400	— / — %

為替レート	¥108.00/US\$	¥108.00/US\$	—/US\$
船舶燃料油価格※1	US\$415/MT	US\$370/MT	△US\$45/MT
適合油補油価格※2	US\$580/MT	US\$610/MT	US\$30/MT
	(第3/4四半期前提)	(第4四半期前提)	

※1 HSF0 (High Sulfur Fuel Oil) 平均補油価格

※2 VLSFO (Very Low Sulfur Fuel Oil) 平均補油価格

第4四半期以降のドライバルク船市況は、ブラジルや豪州の雨期入りにより鉄鉱石出荷が鈍化していることから、基本的には軟調な展開を予想しております。世界経済全体の減速による荷動き減については引き続き懸念材料である一方、影響も期末までの残り日数が少ないことから通期の損益への影響は限定的であると想定しております。

原油船市況は、2019年秋の一時的市況高騰からは軟化しておりますが、冬場の需要期である2月末頃までは上下動を繰り返す、その後は春先に向けて徐々に軟化していくと想定しております。石油製品船市況は、冬場の需要期でもあり、全般に堅調に推移すると見込んでおります。

ONE社においては、旧正月後の需要減により短期市況が弱含むリスクおよび4月以降のサービス改編に伴う回航等の発生を想定し、減便実施を始めとしたコスト削減と貨物ポートフォリオ最適化を継続して取り組み、第4四半期は赤字を見込みますが、前年同期比では大幅な改善を見込んでおります。

なお、SOx規制適用開始後は、規制に対応した適合油への移行完了後も大きなトラブルなく輸送を続けており、燃料油の需給状況を注視しつつ引き続き安全運航に努めます。

かかる見通しのもと、通期の連結業績につきましては、売上高1兆1,400億円、営業損益250億円、経常損益500億円、親会社株主に帰属する当期純損益400億円を予想しております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	124,505	69,021
受取手形及び営業未収金	92,160	86,925
有価証券	500	500
たな卸資産	36,445	32,537
繰延及び前払費用	63,413	65,841
その他流動資産	70,688	68,102
貸倒引当金	△253	△248
流動資産合計	387,460	322,680
固定資産		
有形固定資産		
船舶(純額)	715,344	703,661
建物及び構築物(純額)	145,229	146,616
機械装置及び運搬具(純額)	29,345	28,080
器具及び備品(純額)	4,523	4,924
土地	222,565	241,085
建設仮勘定	73,718	70,884
その他有形固定資産(純額)	3,182	2,238
有形固定資産合計	1,193,910	1,197,491
無形固定資産		
投資その他の資産	28,695	28,526
投資有価証券	360,706	362,929
長期貸付金	73,129	70,858
長期前払費用	5,698	8,085
退職給付に係る資産	15,764	15,913
繰延税金資産	3,048	2,876
その他長期資産	67,761	70,712
貸倒引当金	△1,697	△1,648
投資その他の資産合計	524,411	529,727
固定資産合計	1,747,017	1,755,745
資産合計	2,134,477	2,078,425

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	81,020	74,294
短期社債	28,500	36,912
短期借入金	187,419	153,454
コマーシャル・ペーパー	40,000	53,000
未払法人税等	5,494	3,875
前受金	35,814	35,961
賞与引当金	4,742	2,670
その他流動負債	63,657	66,980
流動負債合計	446,649	427,149
固定負債		
社債	168,198	171,000
長期借入金	665,997	636,275
リース債務	14,224	13,539
繰延税金負債	58,123	57,283
退職給付に係る負債	11,927	9,662
役員退職慰労引当金	1,499	1,460
特別修繕引当金	18,220	17,024
その他固定負債	98,030	90,323
固定負債合計	1,036,220	996,570
負債合計	1,482,870	1,423,719
純資産の部		
株主資本		
資本金	65,400	65,400
資本剰余金	45,385	45,007
利益剰余金	329,888	368,101
自己株式	△6,764	△6,753
株主資本合計	433,909	471,755
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	26,840	26,042
繰延ヘッジ損益	44,391	19,645
為替換算調整勘定	16,197	4,160
退職給付に係る調整累計額	3,725	2,781
その他の包括利益累計額合計	91,154	52,629
新株予約権	1,803	1,649
非支配株主持分	124,739	128,671
純資産合計	651,607	654,706
負債純資産合計	2,134,477	2,078,425

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	942,226	867,269
売上原価	834,097	775,231
売上総利益	108,129	92,038
販売費及び一般管理費	78,449	67,734
営業利益	29,679	24,303
営業外収益		
受取利息	5,634	6,014
受取配当金	5,389	5,066
持分法による投資利益	—	13,441
為替差益	11,751	12,431
その他営業外収益	2,038	1,493
営業外収益合計	24,814	38,447
営業外費用		
支払利息	18,048	12,307
持分法による投資損失	10,171	—
その他営業外費用	1,597	1,162
営業外費用合計	29,817	13,469
経常利益	24,677	49,281
特別利益		
固定資産売却益	4,019	7,898
その他特別利益	7,197	6,196
特別利益合計	11,217	14,094
特別損失		
固定資産売却損	861	604
その他特別損失	2,574	3,357
特別損失合計	3,436	3,961
税金等調整前四半期純利益	32,458	59,414
法人税等	7,096	4,783
四半期純利益	25,361	54,631
非支配株主に帰属する四半期純利益	5,266	6,145
親会社株主に帰属する四半期純利益	20,095	48,486

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	25,361	54,631
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△9,370	15
繰延ヘッジ損益	4,428	△9,041
為替換算調整勘定	△558	△7,517
退職給付に係る調整額	△213	△945
持分法適用会社に対する持分相当額	15,887	△21,660
その他の包括利益合計	10,174	△39,149
四半期包括利益	35,535	15,481
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	28,362	9,258
非支配株主に係る四半期包括利益	7,173	6,222

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、税引前四半期純利益に一時差異等に該当しない重要な差異を加減した上で、法定実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は法人税等を含めて表示しております。

(会計方針の変更)

(IFRS第16号「リース」の適用)

国際財務報告基準(IFRS)を適用している在外子会社及び在外持分法適用会社において、第1四半期連結会計期間よりIFRS第16号「リース」を適用しております。これにより、借手のリース取引については、原則としてすべてのリースについて資産および負債を認識しております。当該会計基準の適用にあたり、経過措置として認められている当該会計基準の適用による累積的影響額を適用開始日に認識する方法を採用しております。

なお、当該会計基準の適用が四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ドライバルク 船事業	エネルギー 輸送事業	製品輸送事業		関連事業	計				
			コンテナ船 事業	自動車船・ フェリー・ 内航RORO船 事業						
売上高										
外部顧客への 売上高	220,763	213,823	214,753	204,385	76,027	929,755	12,470	942,226	—	942,226
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	104	6,456	1,152	473	20,649	28,836	4,673	33,509	△33,509	—
計	220,868	220,280	215,905	204,859	96,677	958,591	17,144	975,735	△33,509	942,226
セグメント利益 又は損失(△)	17,297	13,779	△14,264	2,214	10,037	29,064	1,782	30,846	△6,169	24,677

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメント等であり、船舶運航業、船舶管理業、貸船業及び金融業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△6,169百万円には、セグメントに配分していない全社損益△10,762百万円、管理会計調整額4,665百万円及びセグメント間取引消去△72百万円が含まれております。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ドライバルク 船事業	エネルギー 輸送事業	製品輸送事業		関連事業	計				
			コンテナ船 事業	自動車船・ フェリー・ 内航RORO船 事業						
売上高										
外部顧客への 売上高	208,266	213,812	171,189	188,591	73,016	854,876	12,393	867,269	—	867,269
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	0	6,493	949	129	19,374	26,947	4,910	31,858	△31,858	—
計	208,266	220,306	172,139	188,720	92,390	881,824	17,303	899,127	△31,858	867,269
セグメント利益	10,792	20,484	5,990	3,856	10,055	51,179	3,017	54,196	△4,915	49,281

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメント等であり、船舶運航業、船舶管理業、貸船業及び金融業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△4,915百万円には、セグメントに配分していない全社損益△7,976百万円、管理会計調整額4,903百万円及びセグメント間取引消去△1,841百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

3. 参考資料

(1) 四半期毎の業績推移

<2020年3月期>

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
	2019年4月～6月	7月～9月	10月～12月	2020年1月～3月
売上高 [百万円]	283,147	291,203	292,919	
営業利益又は営業損失(△)	6,854	5,191	12,258	
経常利益又は経常損失(△)	14,007	14,147	21,127	
税金等調整前四半期純利益 又は税金等調整前四半期純損失(△)	15,308	16,983	27,123	
親会社株主に帰属する四半期純利益 又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	12,273	13,363	22,850	
1株当たり四半期純利益 又は1株当たり四半期純損失(△)* [円]	102.63	111.74	191.06	
潜在株式調整後1株当たり四半期純利益*	99.16	107.95	184.55	
総資産 [百万円]	2,082,641	2,069,083	2,078,425	
純資産	639,824	633,474	654,706	

*親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失

<2019年3月期>

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
	2018年4月～6月	7月～9月	10月～12月	2019年1月～3月
売上高 [百万円]	304,434	315,461	322,331	291,851
営業利益又は営業損失(△)	3,691	11,070	14,918	8,039
経常利益又は経常損失(△)	251	10,026	14,400	13,897
税金等調整前四半期純利益 又は税金等調整前四半期純損失(△)	1,510	10,891	20,057	14,320
親会社株主に帰属する四半期純利益 又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△ 1,682	7,407	14,370	6,780
1株当たり四半期純利益 又は1株当たり四半期純損失(△)* [円]	△ 14.07	61.95	120.15	56.69
潜在株式調整後1株当たり四半期純利益*	-	59.84	116.07	54.77
総資産 [百万円]	2,206,323	2,262,672	2,171,741	2,134,477
純資産	619,337	653,536	661,690	651,607

*親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失

(2) 減価償却の状況

	前第3四半期 累計期間	当第3四半期 累計期間	増 減	前 年 度
船 舶	51,570	47,772	△ 3,797	66,923
そ の 他	17,233	17,324	91	23,214
減価償却費合計	68,803	65,097	△ 3,705	90,138

(百万円)

(3) 有利子負債残高

	前 年 度 末	当 第 3 四 半 期 末	増 減	前 第 3 四 半 期 末
借 入 金	853,416	789,730	△ 63,686	872,057
社 債	196,698	207,912	11,214	196,700
コマーシャル ・ペーパー	40,000	53,000	13,000	44,000
そ の 他	15,759	14,774	△ 985	16,805
有利子負債残高合計	1,105,873	1,065,416	△ 40,457	1,129,562

(百万円)

(4) 海運業船腹量 (当社及び連結子会社)

(隻数及び重量トン)

	ドライバルク船		油 送 船		L N G 船		自 動 車 船		コ ン テ ナ 船	
	隻	千MT	隻	千MT	隻	千MT	隻	千MT	隻	千MT
保 有 船 腹	49	4,937	78	10,112	34	2,720	50	873	14	1,110
備 船	256	24,243	93	4,064	9	594	58	970	51	4,823
運 航 受 託 船	-	-	-	-	2	143	-	-	-	-
当 第 3 四 半 期 末	305	29,180	171	14,176	45	3,457	108	1,842	65	5,933
前 年 度 末	330	31,387	170	14,483	41	3,133	113	1,870	65	5,929

	フェリー・ 内航RORO船		客 船		そ の 他 *		海 運 業 船 腹 量 計	
	隻	千MT	隻	千MT	隻	千MT	隻	千MT
保 有 船 腹	10	54	1	5	7	42	243	19,852
備 船	5	31	-	-	25	78	497	34,803
運 航 受 託 船	-	-	-	-	1	1	3	144
当 第 3 四 半 期 末	15	85	1	5	33	120	743	54,799
前 年 度 末	16	91	1	5	33	114	769	57,011

*内航船(内航RORO船以外)を含む

(5) 為替情報

	前 第 3 四 半 期 累 計 期 間	当 第 3 四 半 期 累 計 期 間	増 減			前 年 度
平均社定レート	110.49円	109.09円	1.40円	(1.3%)	円高	110.63円
期末レート	111.00円	109.56円	1.44円	(1.3%)	円高	110.99円

<海外会社>

	2018年9月末	2019年9月末	増 減			2018年12月末
期末レート	113.57円	107.92円	5.65円	(5.0%)	円高	111.00円

(注) 平均社定レートは、当該期各月社定レートの平均。期末レートは、当該期末日のTTMレート。

(6) 船舶燃料油価格情報

	前 第 3 四 半 期 累 計 期 間	当 第 3 四 半 期 累 計 期 間	増 減
平均補油単価 (全油種)	US\$464/MT	US\$464/MT	△ US\$0/MT

(7) 海運市況

① ドライバルク船市況 (Baltic Dry Index)

(1985年1月=1,000)

出所: Bloomberg



各月平均	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	期間平均
2018年	1,242	1,125	1,154	1,129	1,293	1,352	1,650	1,710	1,447	1,545	1,192	1,335	1,348
2019年	1,063	629	680	773	1,036	1,174	1,870	1,982	2,255	1,826	1,419	1,381	1,341

② 油送船市況 (Daily Earnings) : VLCC 中東-日本航路

(USD/日)

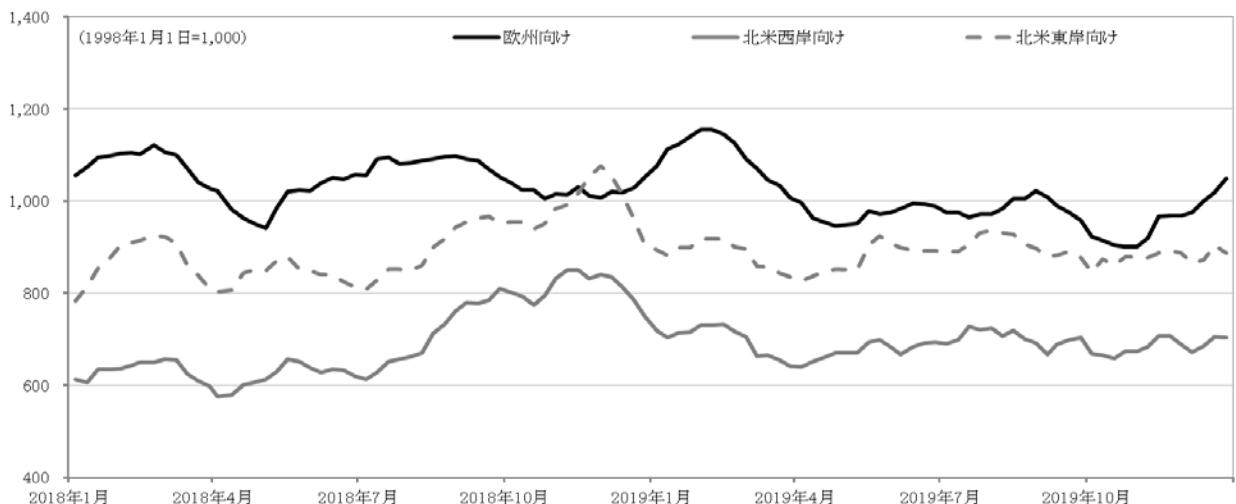
出所: Clarkson Research



各月平均	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	期間平均
2018年	11,148	7,357	8,739	6,800	7,116	12,896	12,282	15,869	16,183	41,604	52,657	48,552	20,100
2019年	33,842	24,042	32,844	12,797	11,651	20,240	17,660	34,248	38,243	149,802	80,012	101,423	46,400

③ コンテナ船市況 (China Containerized Freight Index)

出所: 上海航運交易所



(註)CCFIは中国出しコンテナのみを対象とした運賃指数であり、アジア出し全体の運賃動向と必ずしも一致するものではありません。